

栃木県連40周年記念山行

赤雪山(620.6m)&仙人ヶ岳(662.9m)

- 【山行日】 2015年12月23日(水・祝日)
【交通】 マイカー2台・クロス山行
【費用】 1,000円
【参加者】 12名
《コース》 徒歩約5時間(休憩合計1時間除く) 標高差523m、歩行距離9.8km
A班:赤雪山登山口8:50⇒赤雪山10:00⇒仙人ヶ岳12:50⇒14:50岩切登山口
B班:岩切登山口8:40⇒仙人ヶ岳10:30⇒赤雪山13:40⇒赤雪山登山口14:30

野木山想会として受け持った8座の「栃木県連40周年記念山行」、トリとなったのは赤雪山である。

赤雪山の名の由来は・・・源平の時代、客人として足利義兼の留守を守っていた足利又太郎忠綱が義兼の妻との不義を疑われて怒りを買い、逃亡中にこの山に入ってしまったが、雪の為足跡が残っており追手に見つかってしまった。従者をはじめ忠綱らは多数の矢傷を負い、白雪を血で染めた。この事から当時名のなかったこの山を『赤雪山』としたということらしい。(ちょっと変わった名前なので調べてみました)

12月23日の天皇誕生日に「県連40座として赤雪山のCLをせよ」との指令を頂いた。雨天中止になると年内に実施できなくなるため、数日前から天気が気になって仕方なかったが、願いが通じ、曇天ながら無事催行となり、7時に野木町役場を出発。

与えられたミッションは「赤雪山」であるが、計画段階で「赤雪山だけでは2時間程度で下山できてしまうので物足りない」ということで仙人ヶ岳を含めた縦走とし、参加者も集まって車2台となったことから、赤雪山登山口→赤雪山→仙人ヶ岳→岩切登山口のルートと、この逆を行くルートのクロス山行として実施した。

赤雪山は足利市では2番目に高い山、そして、それよりも高いということは、仙人ヶ岳は足利市で一番高い山である。県連40周年記念山行の締めくくりにはぴったりの縦走ではないか!(でもないか?)

A班は松田湖畔の赤雪山登山口から、B班は岩切登山口からそれぞれ9時前にスタート。今年は例年ほど寒さが厳しくなく、曇天の陽気でも寒くはない。また、時々現れる急登を登っていても汗をかくこともなく、絶好の山行日和であった。

紅葉の季節も終わり、登山道は落ち葉だらけ。下り坂では足を滑らせて尻餅を突くメンバーもあり、気を抜けない一日であったが、思わぬご褒美もあった。この季節、花などは全く期待していなかったが、暖冬の影響で、途中何本もの「ヤマツツジ」の狂い咲きに遭遇し、「わー、きれい」という女性陣の歓声。ピンク色の可愛い花が何よりのエネルギー補給になった。

B班が仙人ヶ岳から赤雪山へ向かう稜線上で、ちょっとした道迷いをしてしまったが、大きな事故もなく、ほぼ予定通りに下山することができた。落ち葉で本来の登山道が分かりにくくなっていたこと、営林作業用と思われる道にピンク色のリボンが付けてあり、これを登山道と思い込んでしまったことなど、原因はいろいろ考えられるが、楽しい山行で会話が夢中になっていたことも要因の一つかもしれない。



A班 赤雪山にて



B班 仙人ヶ岳にて

当日は午後3時過ぎに雨に変わる予報であったが、なんとか下山まで天気ももってくれて、一年の締めくくり（の人も多かった）としては、CLが言うのも何だが、最高の山行であったと思う。楽しい山行にしてくれた参加メンバーに感謝、感謝である。



季節はずれの山ツツジ

仙人ヶ岳から赤雪山方面に約 50 分の地点で A 班と B 班が遭遇。お互いの健闘を称え合い、記念撮影をして車のキーを交換。